

クラダシ、「Impact Report 2026」を発行 ～「善いビジネス」の実践とグループ体制における新たな価値連鎖を開示～

株式会社クラダシ(本社:東京都品川区、代表取締役社長CEO:河村晃平、以下「クラダシ」)は、社会・環境・経済の3つの価値を同時に生み出す「善いビジネス」の実践と成果を、事業成長と一体のインパクトとして示すため、従来の「サステナビリティレポート」を刷新した「Impact Report 2026」を2026年9月30日(水)に発行いたします。

本レポートでは、2026年9月17日(木)の取締役会で決議したマテリアリティの改定、2026年6月に取得したB Corp再認証、2026年6月末時点のインパクト指標などを開示しています。あわせて、日本のB Corpムーブメントを推進する一般社団法人B Market Builder Japanの共同代表であり、株式会社バリューブックス代表取締役の鳥居希さと、クラダシの代表取締役社長CEO:河村晃平によるトップ対談を掲載しています。

・Impact Report 2026:

<https://speakerdeck.com/kuradashi/kura-dashi-impact-report-2026>

Kuradashi

Impact Report 2026

2026.09.30 株式会社クラダシ

■「Impact Report」への刷新の背景

クラダシは、2026年1月にコーポレートアイデンティティ(CI)を刷新し、ミッションを「善いビジネスで未来に実りを。」、ビジョンを「日本一のインパクト企業グループへ。」に改めました。さらに2026年7月には、Kuradashi Food、Kuradashi Energy、Kuradashi Estateの3カンパニーによるグループ経営体制へ移行しています。

こうした変化を受けて、これまで発行してきた「サステナビリティレポート」を、名称・構成ともに「Impact Report」へ刷新しました。社会課題の解決を事業とは別の特別な活動としてではなく、事業成長のメインストリームに位置づけるというクラダシの姿勢を、レポートの名称そのものに込めています。本レポートは、「善いビジネス」の実践を、事業成長と切り離せないインパクトの記録として発信するものです。

■「Impact Report 2026」の主なトピック

①マテリアリティの改定

事業構成の変化にあわせ、2026年9月17日(木)の取締役会でマテリアリティを改定いたしました。フードロスは引き続き「資源ロスの削減」の筆頭サブテーマとして位置づけています。また、電力ロス削減量については、FY26(2026年7月～2027年6月)より開示する予定です。

【改定箇所】

- 軸の変更
 - 分類の軸を「対象物」から「機能」へ変更し、上位概念「もったいないを価値へ」を新設
- 名称変更
 - 「フードロスの削減」→「資源ロスの削減（食品ロス／電力ロス）」
 - 「地域社会の活性化」→「食と暮らし、地域を支える」

B－FOCUS／挑む社会課題

マテリアリティ改定（2023年3月決議からの変更点）

テーマ数は5つのまま。分類の単位を「対象物」から「機能」へ変え、上位概念を新設。

（上位概念なし）

Before | 2023年3月決議
対象物（フードロス）で分類

01	フードロスの削減
02	気候変動への対応
03	地域社会の活性化
04	人材と組織
05	ガバナンスと透明性



新設 上位概念 もったいないを価値へ

After | 2026年9月17日決議（改定）
機能（もったいないの価値転換）で分類

01	資源ロスの削減（食品ロス／電力ロス）	名称変更
02	気候変動への対応	変更なし
03	食と暮らし、地域を支える	名称変更
04	人材と組織	変更なし
05	ガバナンスと透明性	変更なし

改定の理由

FY26計画では、フードロス削減を直接の目的とする事業は連結売上上の約3割。残る約7割が現行テーマに紐づかない

変えないもの

テーマ数は5つのまま。フードロスは01の筆頭サブテーマとして維持（降ろすのではなく、置く場所を変える）

測定・開示の範囲

Food／Energyの2事業。Estateは対象外（FY26計画0・セグメント開示なし）。電力ロス削減量はFY26より開示

※ Beforeのテーマ名は直近開示（成長可能性資料・サステナビリティレポート）での表記。
2023年3月決議時の原表記は「①ソーシャルグッドな世界の実現／②フードロス削減・環境への貢献／③おいしい食へのアクセスの向上／④企業と人が共に成長できる場所／⑤コーポレートガバナンスの強化」。

②B Corp再認証とトップ対談

クラダシは2022年6月にB Corp認証を取得し、2026年6月に再認証を取得しました。再認証のタイミングにあわせ、B Market Builder Japan共同代表・株式会社バリューブックス代表取締役の鳥居希さと、代表取締役社長CEO: 河村晃平によるトップ対談を実施しました。対談では、B Corp認証制度の変化や、社会性と収益性を両立させる意思決定について議論し、「Impactは、利益の使い道ではなく生み方」「B Corpは、取得して終わる認証ではなく経営OS」といった論点が語られています。



③グループの価値連鎖モデル

Kuradashi Foodで実証した「善いビジネスの型」を、電力ロス(Kuradashi Energy)・空き家ロス(Kuradashi Estate)という新たな社会課題へ展開していく価値連鎖モデルを示しています。

■主なインパクト指標(2026年6月末時点の累計)

インパクト指標は、前年値を開示している全項目で前年を上回りました。フードロス削減量は前年から5,660トン増加し、累計35,287トンとなりました。

- ・フードロス削減量 : 35,287トン(前年: 29,627トン)
- ・CO2削減量 : 93,545t-CO2(前年: 78,541t-CO2)
- ・経済効果 : 171.7億円(前年: 144億円)
- ・会員数 : 66.2万人(前年: 59万人)
- ・出品企業数 : 約2,200社(前年: 約2,100社)
- ・支援総額 : 1.9億円(前年: 1.6億円)
- ・連携協定自治体 : 33自治体

※インパクト指標の測定対象は、Kuradashi Food／Kuradashi Energyの2事業です。Kuradashi Estateは対象に含めていません。

※「前年」は2025年6月末時点の累計値です。

※CO2削減量は、フードロス削減量に公的機関が公表する原単位を適用して算定した「削減貢献量」であり、当社グループ自身の排出量(Scope1・2・3)とは別の概念です。

※経済効果は、消費者の購入価格差およびパートナー企業の廃棄コスト削減額等に基づく当社試算です。

■「Impact Report 2026」概要

- ・発行日: 2026年9月30日(水)
- ・発行元: 株式会社クラダシ(東証グロース: 5884)
- ・対象期間: FY25(2025年7月～2026年6月/ 2026年6月期)
- ・対象範囲: クラダシおよび連結子会社
- ・報告内容: 下記5部構成
 - A | WHY(なぜやるか: Impact Reportとは、トップ対談など)
 - B | FOCUS(挑む社会課題: マテリアリティなど)
 - C | ACTION(事業による解決: 各事業説明)
 - D | GROWTH(広がる構造: 価値の連鎖、ガバナンス体制)
 - E | TRUST(裏付けと信頼: 事業外活動など)
- ・掲載先: <https://speakerdeck.com/kuradashi/kura-dashi-impact-report-2026>

■クラダシコメント

代表取締役社長CEO 河村 晃平

「2023年6月のグロース市場上場、2024年7月の代表交代から2年。クラダシは、フードロス削減という一つの事業を、社会課題解決のための『型』へと磨き上げてきました。2026年7月には、この型を面として広げるべく、3つのカンパニーによるグループ経営体制へ移行しました。レポートの名前を『Impact Report』に改めたのも、同じ理由からです。私たちが目指すのは、社会課題の解決を特別な活動としてではなく、事業成長のメインストリームに位置づけること。『善いビジネス』を日本のメインストリームにするために、これからも一つひとつの事業でインパクトを積み重ね、あらゆるステークホルダーの皆さまとの対話を続けてまいります。」

Press release

今後もクラダシは、「善いビジネスで 未来に実りを。」というミッションのもと、社会・環境・経済の3つの価値を同時に生み出す事業を通じてインパクトを創出し、その成果を継続的に開示してまいります。

■株式会社クラダシについて

代表者氏名：河村晃平

設立：2014年7月

本社所在地：〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

URL：<https://corp.kuradashi.jp/>

【サービス紹介】

- ・ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」：<https://www.kuradashi.jp/>
- ・クラダシが自社で運営する「クラダシ基金」：<https://www.kuradashi.jp/fund>
- ・冷凍宅配弁当「Dr.つるかめキッチン」：<https://tsurukame-kitchen.com/>
- ・オンライン料理教室「La Table de SHIORI Online」：<https://online.atelier-shiori.com/>
- ・物流代行サービス：<https://logistics-kuradashi.com/>

【店舗一覧】

- ・Kuradashi店舗一覧：<https://kuradashi.jp/pages/stores>

【クラダシのインパクト】

- ・インパクトサイト：<https://corp.kuradashi.jp/impact/>
- ・インパクトレポート：<https://speakerdeck.com/kuradashi/kura-dashi-impact-report-2026>

【2026年6月末時点の主な累計実績】

- ・フードロス削減量：35,287トン・経済効果：171億6,857万円
- ・CO2削減量：93,545t-CO2・支援総額：194,051,084円

「Kuradashi」、「ソーシャルグッドマーケット」、「1.5次流通」、「もったいないを価値へ」は株式会社クラダシの登録商標です。